

つながり

麻生田小だより No. 7
令和4年11月1日
文責 校長：阪本 雅弘



【教育指針】礼・学・体

【校訓】かしこく 強く 美しく

【教育目標】持続可能な未来や社会を自ら考え、創る子どもの育成

【学校経営スローガン】「子ども一人一人が輝く、毎日来たくなる学校」

「心かがやけ月間」「思いは見えないけれど、思いやりは見える」

11月1日の全校朝会で、児童に話した内容です。この機会に、子どもたちの「心」が一層輝いていくよう、ご家庭でも学校のこと、お友だちのことなどお話しただけだとありがたいです。

2011年、もう11年が経ちますが、東北地方を中心に東日本大震災という大きな災害がありました。このとき大津波や火災の発生により、犠牲になられた人が、1万5900人、行方不明者2523人ととても大きな被害が出た大災害です。このときにテレビでしばらく繰り返し流れていた、心に残るCMがあります。

「こころ」はだれにも見えないけれど、「こころづかい」は見える。「思い」は見えないけれど、「思いやり」はだれにでも見える。その気持ちをカタチに

これは、詩人宮澤障二さんの「行為の意味」という詩にある言葉です。その詩の原文です。

あなたの「こころ」はどんな形ですか？と人に聞かれても答えようがない。

自分にも他人にも「こころ」は見えないけれど、ほんとうに見えないのであろうか。

確かに「こころ」は誰にも見えない。けれど、「こころづかい」は見えるのだ。

それは人に対する積極的な行為だから。同じように胸の中の「思い」は見えない。

けれど、「思いやり」はだれにでも見える。それも人に対する積極的な行為なのだから。

あたたかい心があたたかい行為になり、やさしい思いがやさしい行為になるとき、「心」も「思い」も初めて美しく生きる。それは人が人として生きることだ。

この宮澤障二さんの「行為の意味」という詩は6年生の廊下、多目的室の壁に貼ってあります。今度見てみてください。みなさんの心の中には、温かで純粋な思いやりの心がありますが、それはいつも見えている心ではありません。しかし、たった一言の言葉かけで心づかいが見えることがあります。

言葉をかけることが苦手な人は、微笑みかけるだけで思いやりは伝わります。そっと手を貸す、黙ってそばにいてあげる、小さな行為ですが、あたたかな心づかいが伝わる姿です。

「こころ」は見えないけれど、「心づかい」は見える。「思い」は見えないけれど、「思いやり」は見える。短い言葉ですが、この言葉を忘れずに行動することができたならば、みなさんの周りの人たちはだれもが温かい気持ちになれると思います。「心かがやけ月間」の11月。みなさんの心も輝いてくれるとうれしいです。誰に対しても心づかい、思いやりがあふれる素敵な麻生田小学校になることを祈っています。

<11月の主な行事予定>

- 9日(水) 地区別人権教育研修会
(3時間授業、給食なし)
- 10日(木) 4年生見学旅行(通潤橋)
- 16日(水) 就学時健康診断
- 20日(日)~21日(月) 5年生集団宿泊教室(菊池少年自然の家) ※22日(火) 5年生振替休業日
- 30日(水) 熊本市学力検査(3, 4, 5, 6年生)

<12月の主な行事予定>

- 14日(水) 第2回学校保健委員会
- 16日(金) 学校安全対策協議会
- 20日(火) 第2回学校評議員会
及び学習発表会(2, 4, 6年)
- 23日(金) 終業式



「6年生修学旅行、長崎・佐世保へ」

10月20日(木)、21日(金) 6年生は長崎、佐世保(ハウステンボス)へ修学旅行に行ってきました。追悼空間、原爆資料館、平和公園で平和と命の大切さについて学ぶことができました。ハウステンボスでは、アトラクションやお土産ゲット



を満喫しました。とても充実した2日間でした。6年生は、行動、態度が立派で、さすが麻生田小の「顔」どこよりも自慢できます。